

取扱説明書



マキロン エンジン式薪割り機 15t MLE-15



ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり
内容をご理解の上、お使い下さい。

株式会社ケイ・エス・エンタープライズ

2023年1月版

目次	ページ
はじめに	1
安全上のご注意	
製品を長くお使いいただくために	
安全にお使いいただくために	2-4
薪割り機に係る安全事項	
薪割り機の作業に係る安全事項	
主要諸元	5
各部の名称	6
運転操作の仕方	
1. 運転前の点検	7
燃料の点検	
エアクリーナーの点検	
エンジンオイルの点検	
各部締め付けネジの点検	
各部の清掃・点検	
燃料もれ・油もれの点検	
潤滑油やグリスの塗布	
2. エンジン始動	8
エンジン始動方法	
エンジンの止め方	
3. 薪割り作業の開始	9
薪割り台の角度を変える	
縦置きの使用	
斜め置きの使用	
横置きの使用	
4. 薪割り作業の要領	10
5. 移動の仕方	10
メンテナンスと保管	11-13
メンテナンスと保管	
エンジンメンテナンス	
①燃料の点検・給油	
②エンジンオイルの点検・給油	
③点火プラグの点検、掃除	
④エアクリーナーの掃除	
作動油の点検、補充	
長期使用しないとき	13
トラブルシューティング	14
ご相談、ご意見、お問合せ	14

はじめに

この度は薪割り機をご購入ありがとうございます。

安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取り扱い説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがございます。

この取り扱い説明書を熟読しご理解の上、ご使用ください。

この取り扱い説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

各ページ記載の警告・注意事項を必ずお読みください。

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをした場合に生ずる危険とその程度をマークで記載して説明しています。

表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。



警告 避けられない死亡事故か重傷事故をもたらす可能性のある潜在的に危険な事項を示します。



注意 避けられないケガ・事故・物的損害をもたらす可能性のある潜在的に危険な事項を示します。



禁止 取扱においてその行為を禁止します。



指示 指示に基づく行為を強制します。

製品を長くお使いいただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

薪割り機に係る安全事項

警 告



- ・燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- 禁止** ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。排気ガスを吸い込まないようにご注意ください。特に屋内、倉庫内など換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・可動している部分の近くに手又は足を入れないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保障サービスは一切受けられなくなります。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作させないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。



- ・自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料供給レバーを閉じてください。
- 指示** 振動等により燃料が漏れることがあります。
- ・給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。
燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。
燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。
温度上昇によって燃料が膨張し漏れることがあります。
- ・ガソリンタンクのキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると引火の恐れがあります。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- ・ガソリンスタンドで直接エンジンに燃料を投入しないでください。
- ・静電気にご注意ください。燃料を投入する場合は指定のガソリンタンクを使用してください。
屋外にて燃料の給油を行ってください。
- ・運転中に点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・停止中でも直接刃物に触れないでください。ケガをすることがあります。
- ・点検整備を行う場合はエンジンスイッチをオフにして、エンジンを停止してください。
- ・点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラーの一部の他点火プラグの温度も高くなっており、火傷の恐れがあります。

エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

- ・始動前点検を実施してください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・柔らかい地面では使用しないでください。転倒の恐れがあります。

薪割り機に係る安全事項

注 意



禁止 ・指定された用途以外には使用しないでください。



- 指示** ・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
 - ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
 - ・定期点検整備を行ってください。

薪割り機の作業に係る安全事項

警 告



- 禁止** ・薪割り中、両手は刃とエンドプレートから離してください。骨折等の重大事故を招く恐れがあります。
- ・他の人が作業区域内に入ると重大な事故が起こることがあります。
作業中は、他の人が作業区域に入らないようにしてください。
 - ・暗い場所での作業は危険ですので、視界の悪い場所などでは使用しないで下さい。
 - ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
 - ・使用中に異常が発生した場合は、速やかにエンジンを停止し、異常原因を調べてください。
損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。



- 指示** ・本機はしっかりとした硬い地面に設置してください。
- ・作業中に木材の破片が飛び散る可能性がありますので、目のケガを防止するため、必ず保護メガネを装着してください。
 - ・本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
 - ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
 - ・ご使用前には各部ボルト・ナット類がすべて締まっているかどうか確認をしてください。
 - ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。
触れるとやけどすることがありますので注意してください。
 - ・斜め置き、横置きでの使用は、薪割り可能直径(約300mm)を超える丸太を割ると、
機械故障・事故の原因にもなりますので注意してください。

警告



警告

油圧ポンプは非常に高い圧力を持っているため、衝撃などの原因によりヒビ、小穴などを起こした場合は、高圧のオイルが噴出し、使用者が死亡または重症を負う可能性がありますので、以下にご注意ください。



指示

- a. ホース、チューブ、接続部に摩耗、曲れ、ヒビ、ダメージがあった場合は、必ず使用を停止してください。
- b. 素手で直接機械パイプなどの検査をすることはやめてください。
- c. 点検をするときは、必ず先にエンジンを停止してから行ってください。
- d. 漏れ検査をする時は、保護手袋、保護メガネをつけてから行ってください。

注意



禁止

- ・機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。
- ・エンジンのかかっている状態で本機から離れないでください。



指示

- ・滑りにくい安全靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてシートカバーなどは本機が十分冷めてからかけてください。
- ・本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

主要諸元

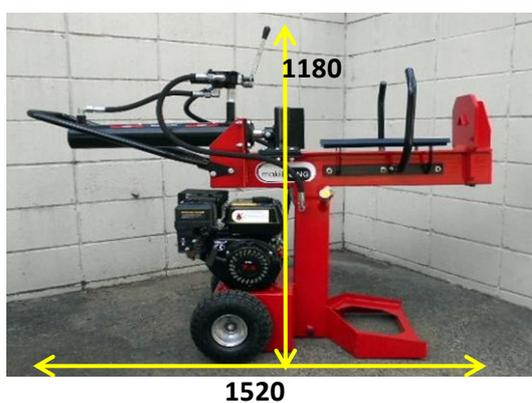
シリンダ推力(破碎力)	15トン
サイクルタイム	15秒
エンジン	ガソリンエンジン
エンジン出力	7HP
始動方式	リコイル
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	3L
エンジンオイル	10W-30
エンジンオイル容量	0.6L
作動油	油圧用ハイドロリックオイル#46 同等品
作動油タンク容量	約5L
本体重量	117kg
刃の長さ(刃渡り)	150mm
タイヤサイズ	4.10/3.50-4 (空気圧:1.6kgf/cm ²)
薪割り可能な最大長	520mm
薪割り可能な最大径	約300mm
サイズ(縦置きの場合)	L1100×W530×H1600mm
サイズ(横置きの場合)	L1520×W530×H1180mm

サイズ (単位:mm)

<縦置き>



<横置き>

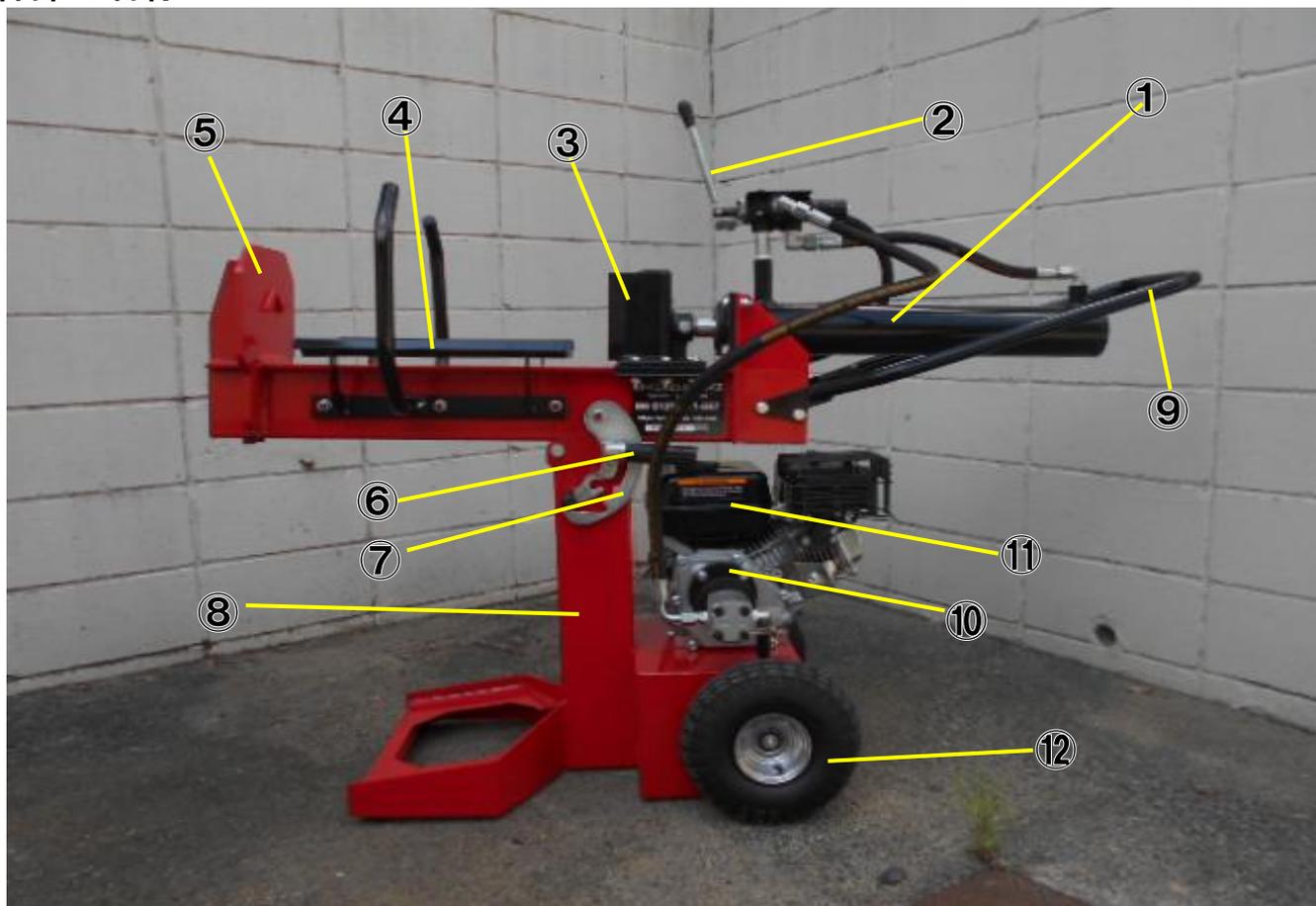


<幅>

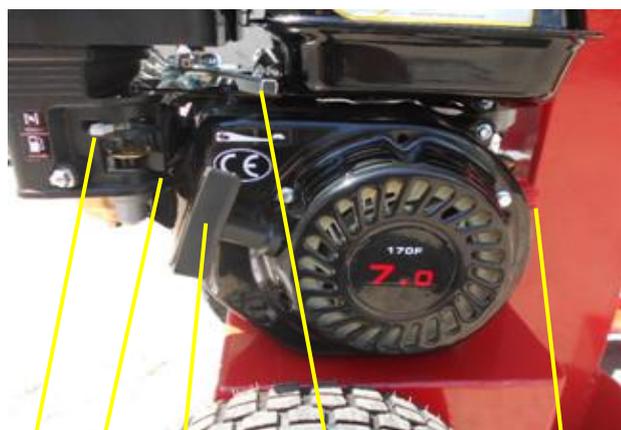


※ 弊社では、お客様満足度向上の為、日々製品(部品やカラーも含め)の改良に努めております。
 そのため、予告なく記載の仕様・デザインが変更する場合があります。
 あらかじめ、ご了承ください。

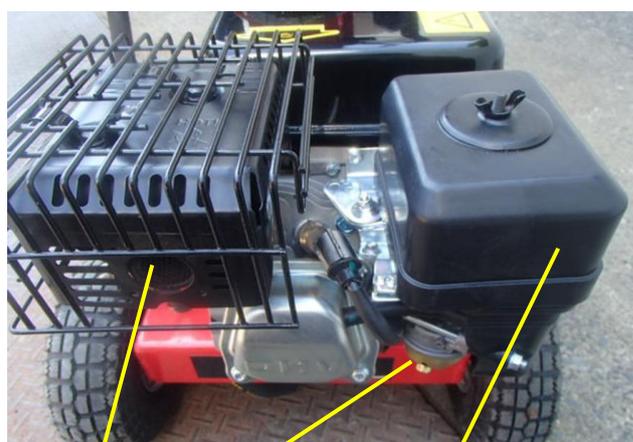
各部の名称



- | | |
|------------------|------------------|
| ① 油圧シリンダー | ⑦ 薪割り支持台角度調整プレート |
| ② コントロールバルブハンドル | ⑧ 作動油タンク |
| ③ 刃 | ⑨ 移動用ハンドル |
| ④ 丸太ガイド及びガード | ⑩ エンジン |
| ⑤ エンドプレート | ⑪ ガソリンタンク |
| ⑥ 薪割り支持台角度ロックレバー | ⑫ 移動用車輪 |



- | | | |
|---------|---------|------|
| チュークレバー | アクセラレバー | スイッチ |
| 燃料供給レバー | リコイルレバー | |



- | | | |
|----------|--------|--------|
| エンジンマフラー | キャブレター | エアクリナー |
|----------|--------|--------|

運転操作の仕方

1. 運転前の点検（運転前には必ず点検してください）

①燃料の点検（P12 燃料の点検・補充参照）

- ・燃料の量を点検します。（出荷時は入っていません）
- ・燃料は、自動車用レギュラーガソリンを使用してください。
- ・古いガソリンは使用しないでください。
- ・燃料タンクに注入する時は、あふれさせないようにしてください。（上部に2～3cm空間を開けてください。）



注意



禁止

- ・ガソリンは、火気により引火・爆発の危険があります。火気には十分注意をしてください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

②エアクリーナーの点検（特に、メンテナンス時、P13 エアクリーナーの点検・掃除参照）

- ・エアクリーナーエレメントが汚れてはいませんか？埃のほかに、エンジンオイルがエレメントに付着している場合があります。

③エンジンオイルの点検（P12 エンジンオイルの点検・給油 参照）

注意: エンジンオイルが充填されてない状態で始動しますとエンジンの破損・故障の要因になります。

- ・エンジンオイルは規定量入っていますか？（本機のオイルは0.6Lです）
- ・エンジンオイルは汚れていませんか？
- ・オイルが少なかったり、汚れていた場合は新しいエンジンオイルに交換してください。
- ・エンジンオイルは、SAE 10W-30が標準です。

④各部締め付けネジの点検

- ・各部のネジは締まっていますか？

⑤各部の清掃・点検

- ・マフラーやエンジン部の冷却フィン周辺に、薪チップ、草や葉及び可燃物などが付着していませんか？
- ・リコイルスターターの空気取り入れ口の周りに草や葉及び可燃物などが付着していませんか？
ゴミ等が付着している場合は、必ず取り去ってから運転してください。

⑥燃料もれ・油もれの点検

- ・燃料もれや油もれはありませんか？異常のあった場合は整備を行った後ご使用ください。

⑦潤滑油やグリスの塗布

- ・可動部部分には、使用前に潤滑油やグリスを塗布する習慣をつけましょう。

⑧タイヤの点検

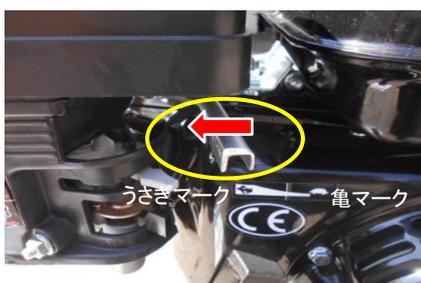
- ・目視にて破損や亀裂が無いか確認します。パンク、亀裂があれば修理、交換してください。
- ・タイヤの空気圧(1.6kgf/cm²)を確認します。減っている場合は、空気を補充してください。

2. エンジン始動

①エンジン側面の赤いスイッチをONにします。



②アクセルレバーを、「ウサギマーク」と「亀マーク」の中間から最大(ウサギマーク側)にします。



③燃料供給レバーを右の方向へスライドさせます。(黒いレバー)



④チョークレバーを左の方向へスライドさせます。



⑤リコイルレバーを引くとエンジンが始動します。



⑥エンジン始動後にアクセルレバーの開度を調整してください。(亀マーク側がアクセル最小絞り状態)



⑦エンジンがかかりましたら、チョークレバーを右にして作業を開始してください。



エンジンの止め方

エンジンを止める場合は赤いスイッチをOFFにします。



燃料供給レバーを左の方向にスライドさせます。



3. 薪割り作業の開始

① 薪割り台の角度を変える

薪割り支持台角度調整プレートの薪割り台の角度を縦置き、横置き、斜め(45°)置きの位置にロックレバーを立てた状態で変え最後にロックレバーをしっかりと締めて固定する。



注意

転倒に十分ご注意ください。
指などを挟まないよう十分ご注意ください。

・縦置きの使用



(写真は縦置きの位置で固定の状態)



・斜め置きの使用



(写真は斜め置きの位置で固定の状態)



・横置きの使用



(写真は横置きの位置で固定の状態)

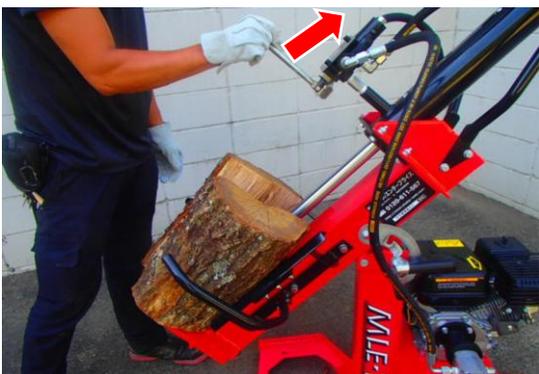


4. 薪割り作業の要領

(写真は斜め置きの場合ですが、すべての位置も同様です。)

- ① 
 - ・薪を薪割り機にセットします。

- ② 
 - ・コントロールバルブハンドルを下方に引くと刃が下方に動き、薪を割り始めます。
 - ・離すとハンドルはニュートラルの位置に戻り、刃はその状態で停止します。
 - ・ハンドルを下方に引き続けると、薪が割れるまで前進し、台座で自動的に停止します。

- ③ 
 - ・コントロールバルブハンドルを上方に上げるとハンドルがロックされ、手を放しても刃が上昇し続け、元の位置に刃が戻りましたら自動停止しロックが解除されハンドルはニュートラルの位置になります。

5. 移動の仕方



移動させるときは、薪割り機を横置きにし、移動用ハンドルで前方を浮かせて押して移動させます。



指示

移動時は必ず、薪割り機を横置きで固定して移動させて下さい。
縦置きや斜め位置の状態でも移動させますと、地面が不安定な場所での転倒の危険があります。

メンテナンスと保管

警告



警告

油圧ポンプは非常に高い圧力を持っているため、衝撃などの原因によりヒビ、小穴などを起こした場合は、高圧のオイルが噴出し、使用者が死亡または重症を負う可能性がありますので、以下にご注意ください。



指示

- a. ホース、チューブ、接続部に摩耗、曲れ、ヒビ、ダメージがあった場合は、必ず使用を停止してください。
- b. 素手で直接機械パイプなどの検査をすることはやめてください。
- c. 点検をするときは、必ず先にエンジンを停止してから行ってください。
- d. 漏れ検査をする時は、保護手袋、保護メガネをつけてから行ってください。

残留油圧の解放



注意

薪割り機のメンテナンス又は修理を行う前に、加圧された作動油から残留油圧を放出する必要があります。エンジンが作動していなくとも、作動油が高圧のままの状態となります。

残留油圧を放出する際には、重大事故を避けるために、皮膚に当たらないように十分注意を払ってください。

残留油圧を放出するには

- ①エンジンを止めて下さい。
- ②コントロールバルブハンドルを前後に動かし各々3秒間保持します、これを4回以上繰り返します。

エンジンメンテナンス



指示

- ・点検・整備は、水平な明るい場所で行って下さい。
- ・不意な始動を防ぐため、点検・整備時は点火プラグの配線を外しておいて下さい。(P12参照)
- ・運転直後は、エンジンが熱くなっていますので触らないで下さい。
- ・燃料(ガソリン)取扱い時は、火気厳禁。
- ・燃料やオイルがこぼれている時は、きれいに拭き取ってから使用して下さい。
- ・エンジンを水洗いしないで下さい。

主な点検・交換の目安

エンジンオイルの交換	初回のみ 3ヵ月	6ヵ月～1年毎
点火プラグの点検・掃除	1年毎を目安に	

①燃料の点検・給油

ガソリンタンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。



※出荷時はガソリンは入っていません。

少ない時は、上限(赤い目印)の位置までガソリンを補充します。



給油が終わったら、キャップをしっかり締めます。

②エンジンオイルの点検・給油

本体を水平な場所に移動させ、エンジンオイル給油キャップを外します。



オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)までであるか点検します。



エンジンオイルは、10W-30 をご使用ください。
※出荷時は、エンジンオイルが入っています。

③ 点火プラグの点検・掃除

点火プラグキャップを外します。



付属の工具(プラグレンチ)で、点火プラグを取り外します。



点火プラグをワイヤブラシ等で掃除します。

取り外しと反対の手順でしっかりと取付ます。

※点火プラグキャップはメンテナンス終了後に取付ます。

④エアクリナーの掃除

エアクリナーカバーを固定しているネジを外して、エアクリナーエレメントを取り出し掃除します。



作動油の点検、補充

作動油注入口からオイルを補充します。

※出荷時は、作動油は入っております。



長期使用しないとき

1. 保管する時は、平坦で乾いた地面の上で本機を安定させて保管してください。
2. ガソリンタンク、キャブレターの燃料を抜きます。
3. エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで放置し、燃料を使い切ります。
4. ガソリンタンク内の防錆作業を行います。
5. 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

トラブルシューティング

トラブル	原因	対策
エンジンがかからない 又はすぐに止まる	燃料が無い	燃料を補給する
	燃料が古く劣化している	新しい燃料に交換する
	燃料の吸い込みすぎで点火プラグが濡れている	点火プラグを外し、リコイルレバーを5・6回引いて点火プラグを装着する
	燃料パイプが折れている 又は外れている	燃料が流れやすいように燃料パイプを調整する
	点火プラグキャップがはまってない	点火プラグキャップをしっかりとめる
	点火プラグが汚れている	点火プラグを掃除または交換する
	点火プラグ不良	点火プラグを交換する
	エアクリーナーが汚れている	エアクリーナーエレメントを掃除する
	マフラーにカーボンが詰まっている	マフラーの掃除、カーボン除去
シリンダーが動かない	作動油が不足している	作動油を補給する
	作動油が劣化している	作動油を交換する
	油圧装置の故障	弊社へお問合せ下さい。

その他、問題が発生した場合は、弊社へお問合せ下さい。



～ メモ ～

ご意見、お問合せ

本機についてのご意見やお問合せがございましたら、下記の所までご連絡ください。

株式会社 ケイ・エス・エンタープライズ

整備センター 〒518-1152 三重県伊賀市予野1534

事務所 〒604-8841 京都市中京区壬生東土居ノ内町17番地5

TEL 0120-611-567

E-mail info@chuko-noki.com